

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和2年度 第1回総合教育会議
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和2年7月21日(火) 16時00分～17時00分
開催場所		会議室508～510(本庁舎5階)
案件		1. 新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた対応について 2. SDGsの推進について
公開の 可否	会議	■公開 □非公開 □一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	■公開 □非公開 □一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	高野区長、金子教育長、樋口教育長職務代理者、白倉委員、酒井委員、村瀬委員
	事務局	政策経営部長、教育部長、企画課長、庶務課長、教育施策推進担当課長、 学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長、 統括指導主事、巣鴨北中学校校長 企画課担当、庶務課担当

○企画課長

これより令和2年度第1回豊島区総合教育会議を始めさせていただきます。

本日の傍聴者は0名です。

はじめに、本年度第1回目の会議でございますので、総合教育会議の委員並びに事務局職員をご紹介します。

<委員及び事務局職員を順次紹介>

○企画課長

それでは、議事進行につきましては、会長でございます高野区長にお願いいたします。

○高野区長

本日は、令和2年度第1回総合教育会議を開催させていただきます。

まず冒頭、豊島区は今新型コロナウイルス感染症への対策を進めており、本日、議会におきまして報告を行ったわけでございます。緊急事態宣言が解除されても、豊島区は都内でも感染者数が多く、最近では池袋のホストクラブ9カ所のうちの1か所でクラスターが発生しました。これに対して警察と連携して、他の8つのホストクラブに立ち入り調査をして、従業員全員にPCR検査を行った結果、全て陰性であるということが分かりました。さらにこれに加え、キャバクラでも感染者が増えているということで、感染者が出る前にピンポイントで抑え込むという豊島方式で進めています。新宿とはスケールが違いますが、夜の街という新宿に次いで池袋が出てくる。よく歌舞伎町がテレビに映るが、西口のロマンス通りやエビス通りは映らない。西口の人たちは、客が減り商売に影響しており、なんとかしなければと危機感を持っている。そこで繁華街池袋からコロナ対策を進め、安全安心な街を作ろうと、ポスターを作って今日議会に報告したところです。池袋繁華街はコロナ対策を徹底し、皆様の安全安心を守ります。感染者を出さない、広げない、抑え込むという豊島方式で、換気・手洗いうがいをし、保健所に連絡ください、すぐ対応しますという周知をしています。街中に一斉に商店街やサンシャイン、デパートなど大型店舗など、あらゆる業態に周知しています。都内で初めてでしょうが、まさに地元も消滅都市になってしまうという危機感を持ち、強い要望要請が出ています。区議会に協力いただくとともに、先が読めない状況であります。一人ひとりが自覚をもってお店も最新の注意を払っていただきながらキャンペーンをしています。

明るいニュースとしては、トキワ荘マンガミュージアムがオープンしました。まち全体が沈んでいる中で、明るいニュースとして、まさにアニメの原点としてのマンガ、そして漫画の原点としてのトキワ荘が世界共通の文化アニメ文化として注目され、オープンの日、7月7日には、マスコミが59社100人を超え、あらゆるところで露出され、全国版を含め、全紙で報道されました。ぜひ子供たちにも見学してもらいたいと思います。

そして、後ほど企画課長から説明がありますが、SDGs未来都市を国から承認をいただき選ばれました。特に自治体SDGsモデル事業になるということは大変ハードルが高く、応募自治体の中から30都市が選ばれ、さらにこのうち10の自治体をモデル都市と

して選ばれるということで、東京で初めてのダブル受賞です。SDGs は全てに関わるということで、豊島区として強力に推進していきます。子どもの教育等全てにも関わっており、SDGs モデル都市を取得した豊島区として強力に推進したいと思っています。豊島区は注目を受けています。私も毎日取材を受けていますが、できるだけ露出度を多くして、豊島区のイメージが上がるように努力していきます。

さて、総合教育会議は、区長部局と教育委員会が教育施策に関して協議・調整をする場として、これまでも「教育都市としま」の実現に向けて、様々な議論を交わしてきました。総合教育会議の役割の一つに、地方公共団体の教育に関する総合的な施策を定めた「教育大綱」の策定がございます。本区では、平成27年度の第2回総合教育会議において「豊島区教育ビジョン」を「教育大綱」に位置づけることを決定いたしました。昨年度は、教育委員会において教育ビジョンを改正されました。また、それに伴い、令和2年度の重点を決定したと聞いております。厳しい情勢の中ですが、次世代を担う子どもたちが、変化の激しい21世紀をたくましく生き抜くことができるよう、区長部局と教育委員会がこれまで以上に連携し教育施策の充実を図っていくことが重要だと思いますので、今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本日の議題は、大きく2つ、

議題1 新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた対応について

議題2 SDGs の推進について

でございます。

はじめに議題の資料について、担当の課長からご説明をさせて頂きまして、その後に教育委員の皆様からお一人ずつご意見を頂ければと存じますので、よろしくお願いいたします。

では、**議題1「新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた対応について」**の説明を庶務課長から順番にお願いします。

○各課長

それでは議題1「**新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた対応について**」につきましてご説明いたします。 ※各項目は（）内の各課長より説明

（1）児童生徒の学びの保障と心のケア（庶務課長）

- ・「学びの保障」を重点化した教育活動（指導課長）
- ・学校の新しい生活様式（学務課長）
- ・学校の長寿命化計画（学校施設課長）
- ・いじめ防止対策（指導課長）
- ・不登校児対策（教育センター長）
- ・子どもスキップの活動状況（放課後対策課長）
- ・「新しい生活様式」に対応した ISS 活動について（教育施策担当課長）

（2）一人1台タブレット体制の整備状況と今後の方針について（庶務課長）

○高野区長

ありがとうございました。

それでは続けて、**議題2「SDGsの推進について」**の資料説明に移ります。

(1)の「区における取り組み」と(2)の「教育委員会における取り組み」について続けて説明をお願いします。

○企画課長・庶務課長・指導課長

2. SDGsの推進について

(1) 区における取り組み（企画課長）

(2) 教育委員会における取り組み（庶務課長・指導課長）

○高野区長

ありがとうございます。今お話しのようにSDGs未来都市は、国から認められたわけですが、一昨日、私の方に安倍内閣総理大臣からメッセージをいただきました。

「2020年はSDGs達成に向けた行動の10年の最初の年であります。今回選定された皆様の創意工夫にあふれた取り組みを成功例として、全国の自治体が地元の企業や市民社会の方々との連携のもと積極的にSDGsの達成に向けてまい進されることを期待するとともに、政府としてもしっかりと支援をしてまいります。」というメッセージをいただきました

それでは、2つのテーマについてご説明させていただきましたが、教育委員の皆様よりご意見ご感想を含めいただきたいと思います。白倉委員から、よろしく願いいたします。

○白倉委員

ご説明ありがとうございました。

本来ですと、見えないウイルスが学校行事とか色々なこと、当たり前のことが縮小・中止になったのは残念。特に卒業式や入学式が中止、縮小されたことは本当に残念でなりません。

今、子供たちが巣ごもりして、身体を動かす機会がほとんどないので、その点について話をしたいと思います。

平成30年度の東京都の体力運動・運動習慣の調査によると、本区の児童・生徒の状況は、授業以外では運動をしない、ほとんどしないという子供が、中学3年生男子で21%、女子は31%、そして運動が嫌い・苦手というのはそれより10%くらい多いという状況です。これは由々しき問題で、こういうことが続くと将来健康不安になって、一番心配なのは肥満による糖尿病が心配です。そのことについて話をしたいと思っていました。

重点の中の基本方針の「健やかな体の育成、将来にわたって運動に親しむ体力の育成」についてお話をしたいと思っています。

子どもたちが運動をするのに、身体を動かす楽しさや爽快感が分からないからこういう風になっているのではないかと考えていますが、学校現場では工夫して子どもたちに

体育をするような身体を動かすような工夫を現在しているので、これ続けて少しでも運動嫌いの子どもを少なくしてほしい。現在、各校で1校1取組みの運動の取組みをしているところだが、成果を上げているということなので今後も取り組んでほしいと思います。

○高野区長

続きまして、村瀬委員よりお願いいたします。

○村瀬委員

村瀬です。今回、SDGs ダブル選定ということで、巣鴨北中でもいろいろな取組みをしたのを拝見しました。SDGs の 17 項目を同時に解決していくことが大事だといわれているので、小学生中学生を含め、一人ずつが目標に向けて自分なりに選んで取り組むことが大事だと思っていますが、せっかくタブレットが配付されることになっているし、生徒たちが実際、京都まで行って宣伝してくるのが素晴らしいと思います。コロナ渦もあるので、生徒会同士 8 校で画面を通じて生徒会同士でつながって、話し合い、具体的に生活に直結した目標を立ててやっていくことが可能だと思います。放課後子ども教室でリサイクルなどいろいろな活動もあるので、その中でうまく SDGs を使ったクラスを作って子どもたちと一緒に解決するような、持続可能な社会を目指すという取組みを、今回選ばれたことで更に協力してやっていけるのではないかと思います。これからどんどん学んでいきたいと思っています。

○高野区長

続きまして、酒井委員よりお願いいたします。

○酒井委員

この 4 月に委員に就任して、これからいろいろ勉強していきたいと思うわけでございます。まず今回、コロナウイルスの感染拡大で大変な危機だと思いましたが、教育委員会に迅速に柔軟に対応していただき、子どもたち並びに保護者一同、大変感謝していると思います。GIGA スクール構想で予算を前倒しして全員にパソコンを配布していただき、区の教育を進める上では大変ありがたいことで、今後一層 ICT を活用できるように、先生方にも研修を通じて学んでほしいと思います。なおかつ、いじめや不登校問題に対しても配慮をいただき、先生方から全員面談をしたのはなかなかなく、大変素晴らしいことと思います。子どもたちの心のケアに気を配っていただきたいと思います。

SDGs につきましては本当に素晴らしいことで、豊島区の W 選定は都内では初めてのことでございます。SDGs の目標は多岐にわたっており、環境の取組みや子どもに関しては子どもの貧困の問題など、例えばジェンダーの要望の存在など多岐にわたるテーマがあり、特に子どもに関連するところで取り組んで、こちらを考えさせていただきたいと思っています。

○高野区長

最後に、樋口教育長職務代理人よりお願いいたします。

○樋口教育長職務代理人

コロナ渦の大変な時期の中で総合教育会議を開いていただいて、御礼申し上げます。

そして区長、教育長、区長部局、教育委員会部局の皆様に御礼を申し上げます。こうして今日も子供たちが今日も学校に行けるのは皆様や学校・園が対応してくださったおかげだと思っています。そしてそれを温かく見守ってくださる地域の方々や保護者の方々、多大なるご協力をいただいている関係各位も様々な関係のところでできることはないかと努力でいただいているのではないかと、豊島区の温かさを感じているところです。

私の方からは今の話からキーワードを作りました。

1 点目は、豊島区は組織として動かれている。

2 点目は、迅速な対応をそれぞれが精いっぱいしている。

3 点目は、タイムリーな情報発信をしてくれるので、区民・保護者は安心することができる。タイムリーな情報発信の裏側には正しい情報収集があるのではないかと思います。この3つは特筆すべきではないかと思います。

これを踏まえて1番のビジョンの方から少しだけお話させてください。

まず「教育ビジョン2019」をお作りになるのはすごく大変だったと思います。たくさん目標があるので、重点という形で特化なさった、この方針が良いと思います。せっかく作ったのに残念ながらいろいろとその通りにはならない状況が生まれましたが、ぜひ2024年度まであるわけですから、重点の目標と検証が整合性のあるように。今まではこのところが弱いところがあったので、お願いしたいと思います。

とりわけ、1人1台のタブレットを3年間かけるところを数か月で実施してくださったところは本当にありがたいと思っています。あくまでもツールなので、このことと肉声で話すことと、関わることのバランスをどのようにとっていくのがこれからの学校教育に求められているところだと思っています。今年度の学校教育は、第一は子どもの命を守るということですが、同時に「学校ってやっぱり楽しい所だね」と実感してもらえようこの二本柱を大事にした学校教育になっていけば良いと思います。また、衛生面でも様々な用具を用意して頂いていることに感謝をいたします。

2点目のSDGsは、おめでとうございます。それからトキワ荘もオープニングに行かせていただきましたが、たくさんの方々が待ち望んでいた様子がよくわかりました。

SDGsに関しては、学校教育は「4 質の高い教育をみんなに」がまず根底にあると思います。「4」だけではなくて、お示しいただいたように様々な視点が関わっていて、先ほどの説明では「豊島区の施策は全てがここに重なっていると」仰っていましたが、私もそう思います。そして学校教育で今、行っていることもすでにそれぞれのところで関わっていると思いますので、では何をすればいいのかと考えたときに、今までの教育活動がどこと重点的につながっているのか、今後どこにもう少し視点を向けなければいけないのかというところを整理いくとよいのではないかと思います。

巢鴨北中学校の校長先生にお越しいただいて大変ありがたいと思いますが、お話を伺いますと、総合的な学習の時間をうまく利用なさって、大単元を組んでいるのかと思いました。小中学校それぞれで、総合的な学習の時間がありますので、そこで環境や健康とか、まちづくりや郷土への貢献など大単元を作って、SDGs の視点を盛り込んで膨らませていく、こうした取り組みは豊島区の学校はできるのではないかと。せっかくこうしてモデル地域に指定していただいたところなので、そのように感じたところです。

最後に、今回のコロナ渦のように、今まで我々が経験したことのないようなことがこれからも発生するかもしれない。どうぞ我々も区長をはじめ区長部局の皆さんと一緒に、知恵を出しあって頑張っていきたい。微力ではありますが教育長のご指導の下、取り組んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○高野区長

これまで伺ったことを踏まえて、金子教育長から、これまでのご議論を踏まえまして、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

○金子教育長

ありがとうございます。1月に就任してから、この会議にこちら（教育部）サイドで出席させていただきまして、感無量でございます。

この6か月なんとドラマチックだったことかと思います。じっくり教育について勉強しなければと思っていたところ、危機管理の日々が続いてきました。豊島区の子供たち、保護者の皆様はよく我慢してくださった。何よりこれに対応するために、なかなか至らないことがたくさんありましたが、こういう状況下ですから、会議がなかなか開けなかったり、ご連絡が遅れたりといったことがあったかと思いますが、新しく委員になられた方を含め、教育委員の皆様からそれぞれの立場からご意見をいただき本当に助かりました。保健衛生の立場、一番わかっていらっしゃる方から非常に鋭いご意見をいただき、父兄はこのように思うんですよというご意見もきっちりいただいた。お二人から本当に専門的な見地から、こうして対応するというのを学ばせていただきました。そういう6か月間だったと思っています。組織的に迅速にやれたかと思いますが、これもなによりも部課長以下スタッフが身を粉にして頑張ってくれた。明日もPCR検査の結果がどうかと、気が休まらない毎日でありますけれども、いつも思うのは緊急事態宣言もあり、子どもたちは先に1か月休んだので、大人は1か月少し楽しているんですね。そういう意味では子供たちが頑張っている中で絶対負けてはいけないというつもりでこれまでやってきました。何よりも先ほどお話がありましたように、2つ申し上げたいと思います。

1つは、ピンチの中でICTの活用をこんなにも早くやらせていただける。これは本当に幸せだと思っています。まさにこれをてこに、ピンチをチャンスに変えたいと思っています。SDGsのお話もありました。「一人も取り残さない。」いろいろなことがありましたけれども、このICT導入にあたり、いろいろな調査をし、あるいは状況を調べてみると、果たして今まで一人も取り残さずに教育がやれてきたのか、不登校対策はどうだったか、いじめ対策は十分だったか、改めて反省をしたところもあります。これからツールをいただいたということは様々なことが可能となる。SDGsは世界的なことで、豊島

区は国際的なことをやってきたことがあります、どこの世界の子供たちもこういうツールを使って、オンライン学習しなければならない状況なのかなと思います。そういう子供たち同士が励まし合えるといいなと思います。無限の可能性があると考えております。あらためて、これまでの区長部局のご支援に感謝いたします。これからも引き続き教育委員会頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

○高野区長

まとめとして金子新教育長からいろいろ皆様からご意見を踏まえてご感想をいただきました。

コロナ渦という国難との先の見えない戦いがあるわけでごさいます、先ほど樋口委員からお話がありましたが、教育委員会は組織的に、迅速な対応と共に情報を的確に発信していったと思います。私のところにもメールがたくさん来ましたが、そのほとんどが教育委員会の対応について本当に様々な意見がございました。そういう声を充分聴きながら、教育委員会の対応は誇りにできる、一丸となって取り組んでいると思います。大変心強く思っている訳でございます。現在進行形ですので、これからも教育委員会と我々が一丸となって進めていきたいと思います。

私の方からは、白倉委員からの将来への健康の不安、村瀬委員からのまさに国際サミットとしてのSDGsのW選定、これからどのようなことができるか、お互いに協力してやっていかなければならない。酒井委員からのパソコンの前倒しだが、やはり当然巨額の財源が伴いますが、これから教育委員会ともよく話し合いの中で一人1台を打ち出してぶれなくやってきた結果が今回相当な色々な面で豊島の教育の改革につながってきているのではないかと思います。

皆様からのご意見の中で、SDGsの受賞については誰一人取り残さない社会を作ることでごさいます、応募にあたって何か一つ絞った形でないとプレゼン時間や文字数も限られ、その中で豊島区の特色を出しなさいという中で、4つの公園によるまちづくりとともに、豊島区全体の公園をいかに活用するかというような形で、そして豊島区が目指しているものがまさにこれから2030年の将来の社会をどう見据えて取り組むかというわけでごさいますので、まさに豊島区が進めている国際アート・カルチャー都市がSDGsで目指すものと同じであるということから、いろいろな委員からの共感を得たのではないかと思います。SDGsの17項目の中には貧困やジェンダーなどもございました。これを提案したからこれだけやるというわけではなく、SDGs全体17項目をこれから取り組んでいかなければいけない。特に私は時代を担う子供たちの社会を作っていくことであろうかと思うので、教育委員会と連携することは大きいと思います。

これから区長部局と緊密な連携をとって、今年度は特に教育ビジョンの重点を図りながら今戦っている新型コロナウイルス感染症の拡大に留意をしながら児童・生徒の学びの保障と心のケア、さらにICT教育を最重要な取組みとして区長部局と教育の緊密な連携を図りながら教育としまの実現に向けて共に頑張ってきたい。そんな思いを皆様のお話を聞いて心強く思いました。これからも皆さんとともに一緒に教育としまを作り上げていきたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和2年度第1回豊島区総合教育会議を終了したいと思います。
本日はありがとうございました。